

本件は、環境省と同時発表です。

平成 21 年度環境技術実証事業
ヒートアイランド対策技術分野（建築物外皮による空調負荷低減等技術）
における実証対象技術の募集について

平成 21 年 8 月 7 日

財団法人 建材試験センター

経営企画部 調査研究課

担当：菊地・村上

TEL：048-920-3814

E-Mail：heat_21@jtccm.or.jp

平成 21 年度環境技術実証事業「ヒートアイランド対策技術分野（建築物外皮による空調負荷低減等技術）」における実証対象技術の募集を以下の通り行います。

記

1. 実証対象技術

実証対象とする技術は、建築物（事務所、店舗、住宅など）に後付けで取り付けることができる外皮技術であり、室内冷房負荷を低減させることによって人工排熱を減少させるなど、ヒートアイランド対策効果が得られるもの（ただし緑化は除く）とする。

実証対象技術には、窓用日射遮蔽フィルム、窓用コーティング材、窓用後付複層ガラス、高反射率建材などが該当する。（詳細は別紙をご覧ください。）

2. 募集期間

平成 21 年 8 月 10 日（月）より

平成 21 年 8 月 28 日（金）まで〔必着〕

3. 提出資料

実証申請書ほか（詳細は、別紙をご覧ください。）

【参考】

窓用日射遮蔽フィルムは、国等の公的機関が率先して環境物品等（環境負荷低減に資する製品・サービス）の調達を推進するグリーン購入法の特定調達品目である「日射調整フィルム」に該当します。本実証事業に応募し、第三者による客観的な実証を経た技術については、グリーン購入法に適合しているかどうかの判断においてその実証結果を活用することが出来ます。しかし、環境物品等の調達の推進に関する基本方針（平成21年2月）において判断の基準が別途定められており、実証された対象技術が判断の基準を満たさない場合もありますのでご注意ください。

グリーン購入法について「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律」（グリーン購入法）第6条第1項の規定に基づく「環境物品等の調達の推進に関する基本方針」に定める特定調達品目とその判断の基準等は、環境負荷低減に資する物品等への需要の転換をさらに推進するため、毎年度見直しが行われ、本年度より日射調整フィルムが追加されました。（平成21年2月13日閣議決定。）詳細は、グリーン購入法ホームページの基本方針（<http://www.env.go.jp/policy/hozen/green/g-law/kihonhoushin.html>）をご確認ください。

その他、窓用日射遮蔽フィルム、窓用コーティング材、窓用後付複層ガラス技術については、本事業の結果を環境省が別途実施する、低炭素社会モデル街区形成促進事業（クールシティ中枢街区パイロット事業：http://www.env.go.jp/air/life/heat_island/cool_model.html）の補助申請の資料の一部として利用できます。

以上

【別紙】

平成 21 年度環境技術実証事業ヒートアイランド対策技術分野（建築物外皮による空調負荷低減等技術）における実証対象技術の募集について〔詳細〕

（１） 実証対象となる技術について

当センターにおいて、実証対象とする技術は、以下に示すとおりとします。

表-1 実証対象技術

実証対象技術	技術の概要
窓用日射遮蔽フィルム	窓ガラスにフィルムを貼付することで、日射を遮へいし、又は、断熱性を向上させ、建築物内部への日射熱取得量又は貫流熱量を減少させる技術。
窓用コーティング材	窓ガラスにコーティング材を塗布することで、日射を遮へいし、建築物内部への日射熱取得量を減少させる技術。
窓用後付複層ガラス	既存窓ガラスを複層化することにより、断熱性能を高め、冷暖房負荷を低減する技術。
高反射率建材	建物の屋上・壁面に塗布・貼付することで、建物表面における日射反射率を高め、表面温度を抑制、建築物内部への熱流量を減少させる技術。 (例：高反射率塗料（遮熱塗料）、高反射率防水シート、高反射率瓦)
その他	目的に合致する技術は幅広く対象とする。 (例：窓用ファブリック、高反射率ブラインド、日射遮蔽網戸)

（２） 実証試験計画（案）について

各技術の実証試験計画書（案）は、当センターのウェブサイト上に公開しております。対象技術の実証試験計画書（案）をご覧ください。

実証試験計画書（案）：http://www.jtccm.or.jp/jissyo_keikaku

(3) 実証試験手数料

この事業は、手数料徴収体制で実施しております。そのため、実証試験に係る費用は、申請者に手数料（実証試験手数料）として負担して頂くこととなっております。

なお、実証試験手数料は、原則実証試験開始前に納付して頂くこととなります。

現時点（平成 21 年 8 月 7 日現在）で検討している技術毎の実証試験手数料は、以下に示すとおりです。これは基本料金であり、オプション計算の料金を含んでおりません。オプション計算の料金については、別途お問い合わせ下さい。

表-2 実証試験手数料

技術名	実証試験手数料 〔円（税抜き）〕	
窓用日射遮蔽フィルム	286,000	
窓用コーティング材	286,000	
窓用後付複層ガラス	176,000 ※	
高反射率建材	高反射率塗料	258,000
	高反射率防水シート	173,000
	高反射率瓦	208,000
その他	窓用ファブリック	286,000
	高反射率ブラインド	138,000
	日射遮蔽網戸	251,000

※加速耐久性試験の費用は含まれておりません。

注) 実証項目の変更等が生じた場合は、実証試験手数料額を改めて確定いたします。

(4) 提出資料について

実証試験を希望する申請者は、以下に示す資料を提出して下さい。

- a) 実証申請書 正 1 部、写 1 部 【必須】
- b) 実証対象製品の基本仕様書又はパンフレット 【必須】
- c) 施工マニュアル 【必須】
- d) 自社又は第三者機関による試験成績書※
- e) 申請書類受理票 【必須】

※：該当する資料がある場合、実証申請書に添付する。

実証申請書および申請書類受理票は、当センターのウェブページ「実証対象技術の募集について」（http://www.jtccm.or.jp/h21_gijutu_koubo）からの入手をお願い致します。

(5) 提出方法

(4) に示す提出書類を、郵便・宅配便等にてお送り下さい。

※直接のお持ち込みは、対応しかねますのでご遠慮下さい。

• 募集期間

平成 21 年 8 月 10 日 (月) から

平成 21 年 8 月 28 日 (金) まで【必着】

• 提出先

〒340-0015 埼玉県草加市高砂 2-9-2 アコス北館 N ビル 3F

(財)建材試験センター 経営企画部 調査研究課 菊地・村上宛

(6) 実証スケジュール

本年度当センターが行う実証事業は、以下に示すスケジュールにて行う予定です。

	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
実証対象技術の募集	■								
実証対象技術の選定		■							
実証試験計画の作成		■							
実証試験の実施		■	■	■	■	■	■		
実証試験結果報告書の作成							■	■	
環境省への報告・公開								■	■

(7) その他

- 特許に関する調整事項がある場合は事前に調整を済ませておいてください。
- 当事業において、実証対象技術の情報は可能な限り公開していくこととしておりますが、公開できない情報につきましては別途相談ください。
- 実証試験の結果はすべて、実証試験結果報告書として、環境省および当センターのウェブサイト上で公表します。
- 本事業は、実証対象技術の性能を客観的に試験し、その結果を公表するものであり、その技術について、認証や認定を与えるものではありません。

〔お問い合わせ先〕

財団法人 建材試験センター 経営企画部 調査研究課 菊地・村上

TEL : 048-920-3814 Fax : 048-920-3821 E-Mail : heat_21@jtccm.or.jp